

2013年度

S 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

3世紀の半ばを過ぎると瀬戸内・近畿地方を中心に、前方後円墳が出現する。初期の古墳の内部構造は竪穴式で、副葬品の中に銅鏡や碧玉製の腕輪などがあることから（イ）¹⁾的性格を持つ地域の首長が被葬者とされる。4世紀末以降、近畿の大和川沿いに大きな前方後円墳が集中して出現する。しかし、巨大古墳の被葬者名は伝わらず、この時代の豪族等は、祖先崇拜の観念が薄かったという²⁾ことがうかがえる。

古墳時代後期の横穴式石室の古墳では、玄室と墳丘外部とを結ぶ通路であるくあ>が設けられ、追葬が可能になり家族・血族の墳墓の意味を強めている。

5世紀以降、ヤマト王権はヤマトとその周辺の豪族を編成し、関東から九州中部まで勢力を広げた。豪族は、父系を核とする氏と呼ばれる集団に編成され、その長が氏上としてヤマトの大王につかえた。大王は、家柄や職務に応じて臣・連などの身分や地位を表す称号であるくい>を氏に与えた。このように、氏は現在の家・家族の概念とは異なるものであった。また、豪族は渡来系の人々を活用し、その技術力を取り入れていった。

古代律令制は唐の国制をまねて日本に移入されたもので、³⁾天皇の下に太政官・神祇官がおかれ、太政官の下にピラミッド型の行政組織が整えられた。そして官人は、位に応じてその職務に就くことになっていた。

ところが、（ロ）が朱雀天皇期に摂政・関白となると、その後この職を独占した藤原氏の一門流は摂関家と呼ばれるようになる。特定の家が特定の官職を占める家職が成立⁴⁾するようになるのである。こうした家職の成立は他にも中原氏や三善氏・和気氏などに典型的に見られる。⁵⁾

11世紀末、白河天皇は譲位し、幼少の（ハ）をたて上皇となった。院政の開始である。これは以後100年も続くが、幼少の“在位の君”である天皇の親として、上皇が政務を行う君主であるという意味の“くう>”と呼ばれた。摂関家の干渉を受けずに、天皇の内戚（父方の親族）が皇位の継承を確保しようとするものであった。

中国に比べ日本は、血族による系統的結合は弱いと考えられるが、平安期からは家の意識が本格的に見られるようになる。なかでも武士の世界では宗家・分家の結合による家の意識が強かった。1156年の保元の乱は中央政治に武士が台頭するきっかけとなった。これは天皇家内の主導権争いであったが、3年後には院近臣や武士の対立の中で再び乱が起こり、勝利を得た平清盛が政治の実権を握った。

その後、源頼朝が政権を握り鎌倉幕府を成立させる。頼朝は1192年に征夷大将軍に任じられたが、その2年前の上洛時には⁶⁾（ニ）⁷⁾に任じられ、幕府の体裁を整えていった。

その幕府の一般政務に携わる政所は、本来家政機関であった。1221年の承久の乱以後、新たな施策によって全国的な政権となる幕府の編成も、家的⁸⁾であったのである。

御家人は主人である将軍に家として奉仕した。その家の長は、惣領として家を代表し、所領の管理もおこなった。しかし、御家人は、将軍だけでなく、天皇を警護する京都大番役も務めた。多くの御家人は地頭職をもち、荘内の治安を守り、年貢収納にも関与した。また、守護に就任し大犯三カ条の権能を行使するものもあった。惣領制が崩れ、家産の分割相続が進展すると御家人の勢力は分散していったが、それはそれぞれの地域の中で、在地領主となっていく過程でもあった。

本来、こうした在地領主は、開発者でもあった。土地利用が活発になるにつれて彼らを核に村が形成されるなかで、相互に村境や山利用などをめぐって争いとなることもあった。そのため家々の長は村の寺院やお堂などに集ってく え をもち、協力して地域の平和を図ろうとした。く え は貴族や武士の間でも行われたが、その場は人々の交流の場であり、連歌・立花などの文化を生み出していった。

村の共同体¹⁰⁾の中ではおとな・若衆という年齢^{かいてい}の階梯による組織が作られていった。地域では、内乱・戦乱が続くなかで独自の公的秩序の形成を進めることになる。一揆とか惣¹¹⁾というものは、そうした公的秩序の表れである。

戦国大名は、村の有力者を家臣化し、検地の実施や境界紛争を調停するなどして村を統治していった。そして、一揆の法や慣習を吸収してつくられた分国法¹²⁾などによって、領地内に独自の秩序を形成した。戦国大名は小説やドラマで描かれるほど絶対的な力をはじめから有していたのではなく、家族・一族を中心に、地域の独立した国人と一揆や同盟関係を結びつつ、力を蓄えていった。そして、家を核とした結びつきにより、重臣を奉行とするとともに、有力家臣の下に地侍をあずける形で組織化したく お 制をとった。これは家族の形態を模したものである。

江戸幕府の中には老中・若年寄などの職があり、諸藩の中には家老などの職があるが、これらは村や町の共同体の役職の名称と相通ずるものであった。村や町の自治組織と同じ原理で編成されていたのである。

下からの独自の公的秩序の形成は戦乱という暴力を伴うこともあった。そのため、それは庶民には過酷なものでもあった。戦国時代、戦乱が次第に収まるにつれ、兵農分離¹³⁾という形で職業・身分が定められていくことになる。

こうして、武士は政治の実権を握ることになるが、これは単に武力を独占したということではなく、様々な行政技術、学問、土木技術などにも習熟したことを意味する。

総じて江戸幕府¹⁴⁾の政治は合議制をとって運営されていた。幕末、徳川慶喜は大政を奉還

するが、その後の大政は公議政体を構想していた。また、1868年の〈か〉でも「広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スベシ」とある。1889年、大日本帝国憲法が發布され、翌年、帝国議会が開かれる。運営を心配する人々がいる中で、福沢諭吉は『国会の前途』で、徳川時代の村・町・五人組の例を挙げ、「日本では自治の伝統があるから大丈夫である」との趣旨を述べている。さらに一揆や惣村を念頭に置けば、人々の合議による意思決定、組織活動の実績は国会運営の基礎と認識でき、その備えは整えられていたことになる。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- (イ) a. 大王 b. 司祭者 c. 村主 d. 武人
(ロ) a. 藤原兼家 b. 藤原兼通 c. 藤原実頼 d. 藤原忠平
(ハ) a. 後三条天皇 b. 崇徳天皇 c. 鳥羽天皇 d. 堀河天皇
(ニ) a. 右近衛大将 b. 藏人頭 c. 惣追捕使 d. 鎮守府將軍

B. 文中の空所〈あ〉～〈か〉それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～14)にそれぞれ対応する次の問 1～14に答えよ。

- この型式の古墳で岡山県岡山市にあり、全長約360メートル、全国第4位の規模を持つのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 太田天神山古墳 b. 五色塚古墳 c. 大仙陵古墳 d. 造山古墳
- 菅田御廟山古墳の被葬者は『宋書』倭国伝に登場する倭の五王の一人と比定されている。この五王のうち、済とされるのは誰か。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 安康天皇 b. 允恭天皇 c. 応神天皇 d. 雄略天皇
- 渡来人や東アジアとの交流に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 東漢氏の祖とされる王仁は、『論語』や『千字文』を伝えたといわれる
b. 西文氏の祖とされる阿知使主は、文筆にすぐれていたといわれる
c. 秦氏の祖とされる弓月君は養蚕、機織りを伝えたといわれる
d. 推古朝期、五経博士が加耶から来倭した

4. 藤原四家のうち、810年の葉子の変によって衰退していった家はどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 京家 b. 式家 c. 南家 d. 北家
5. これが、世襲的に受け継いだ官職はどの官司に属するか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 陰陽寮 b. 検非違使 c. 式部省 d. 典藥寮
6. この人物は1183年に東海・東山両道の沙汰権を朝廷から認められる。この命令・認可を何と呼ぶか。年月を含め漢字 8 字でしるせ。
7. この体制や政策に関する記述として正しいのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 一般政務を扱う政所（公文所）の長官には和田義盛が任命された
- b. 後白河法皇没後、1192年に源頼朝は征夷大將軍に任じられ、補佐として評定衆をおいた
- c. 地頭の呼称は鎌倉幕府以前にもあり、頼朝は平家没官領・謀反人跡地にこれを設置していった
- d. 1185年、九州の統治のため鎮西奉行が置かれ、初代別当に三善康信が任命された
8. これを契機に鎌倉幕府が行った西国の支配を強化するための施策に関する次の問い・ii に答えよ。
- i. 朝廷の監視や尾張（のち三河）以西の御家人の統轄にあたった機関は何か。その名をしるせ。
- ii. 朝廷方についた貴族や武士から没収した所領に配置された地頭の得点はその地の先例を継承したが、先例がない場合や従来の得点が少ない場合には新得分割合が一律に適用された。これを何と呼ぶか。その名をしるせ。
9. この守護の権限に関し、1310年鎌倉幕府は新たに田畠争いでの実力行使の取り締まりを加えた。1346年室町幕府はこれを引き継ぎ、さらに処罰を具体化した。この実力行使とは何か。その名をしるせ。
10. 連歌師の宗祇が編集した連歌集はどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 犬筑波集 b. 応安新式 c. 閑吟集 d. 新撰菟玖波集

11. 一向一揆によって守護が滅ぼされ、「百姓の持ちたる国」といわれたのはどこか。地図中の a～e から 1 つ選び、その記号をマークせよ。



12. この 1 つである「塵芥集」を制定した戦国大名はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 今川氏 b. 上杉氏 c. 武田氏 d. 伊達氏
13. 1591年、豊臣秀吉は武家奉公人が町人・百姓になることや、百姓が町人・職人になることを禁じる法令を出した。その名をしるせ。
14. 17世紀、土佐藩の家老で南学派の儒者でもあり、^{かんがい}灌漑整備・新田開発などで手腕を発揮した人物は誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 木下順庵 b. 谷時中 c. 中江藤樹 d. 野中兼山

Ⅱ． 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

義務教育制度をはじめとする近代教育制度は、欧米先進国において19世紀を通じて漸進的に普及したが、日本では、明治維新後、急速に整備された。江戸時代の教育機関は、寺子屋、藩校、²⁾郷学、³⁾私塾などであったが、それらを統一的な教育制度¹⁾として系統づける社会システムや規則はなく、いつどこで何を学ぶかは、基本的には人々の自由に任されていた。そうした教育事情に劇的な変化をもたらしたのが明治維新であり、近代国家の骨格をなす教育、⁴⁾兵役、⁵⁾納税にかかわる法令が維新後数年の間に制定された。しかし、当時の社会においては新たな負担増と受けとめられることも多く、徴兵告諭に書かれていた（イ）という言葉に反応したとされる（イ）一揆など様々な抵抗の動きが存在した。

近代教育制度の始まりはく あ >年に公布された学制にあり、功利主義的教育と国民皆学教育の建設がめざされた。しかし、明治前期には多くの不就学の子どもが存在した。

学制序文は受益者負担を原則としていたことから、学校建設なども保護者や地域の負担とした。1876年には現在の長野県松本（市）に住民の寄付などをもとに擬洋風の小学校が建設され、近代学校制度⁶⁾への当時の人々の期待の高さを知ることができる。一方、経済的貧困や女子教育への無理解など多様な要因によって就学率は伸び悩み、1882年、男子が約65%、女子が約30%、平均で48%程度であった。

く い >年、森有礼文部大臣のもとで学校令が公布され学校体系が整備されるとともに尋常小学校の義務就学が法制上明記された。その後、小学校令は複数回にわたって改正され、日清戦争期から日露戦争期までのおよそ10年の間に就学率が急上昇した。特に、1900年⁸⁾の第三次小学校令の影響で、就学率は、1902年に90%をこえ、明治末期には100%⁹⁾近くに達した。こうした動きのなか、く う >年に義務教育が6年に延長された。

その後、一貫してこの状態が続くことから、明治末期に義務教育が定着したとみなせるが、その一方で、義務教育段階での中途退学問題が大正期から昭和初期まで続いていたことを壮丁教育調査によって知ることができる。これは、陸軍省と文部省が徴兵検査の際に実施した¹⁰⁾壮丁（男子20歳）の教育程度調査であり、当時の20歳男子の学歴やリテラシー水準がわかる貴重な資料である。それによると、尋常小学校を卒業せず中途退学した男子が1901年段階で15%程度存在し、ほぼ全員が就学し全員が卒業するようになったのは昭和初期であることがわかる。しかしこれは男子に限ったことであり、女子の卒業率を年度ごとに把握できる資料の存在は確認されていない。ただ、当時の工場労働者の実状を描いた¹¹⁾細井和喜蔵の著作によれば、いくつかの工場を調査したうち、男子工員の15.5%、女子工員の41.6%が義務教育中途退学者であったと記録されており、経済的理由から十分な義

務教育を受けられなかった女子が、大正期まで相当数存在していたと推察される。

1880年代後半に鉄道や紡績を中心とした会社設立ブームが起き工場労働者も増加したが、一般に、労働環境が劣悪であったことからストライキが発生し、労働運動の組織化が進み社会主義運動が形成されていった。また、藩閥政治に対抗する民主化運動も多様なかたちで展開され、東京帝国大学教授の（ロ）が提唱した民本主義が大正デモクラシーの理念となり、1918年9月、（ハ）会の総裁原敬を首相とする本格的な政党内閣が誕生した。こうした動きのなか、良妻賢母主義に対抗しつつ女性解放運動を推進した平塚らいてうは、大正自由教育を推進する成城小学校に2人の子どもを入学させたが、ブルジョア的などと非難を受けた。これに対し平塚は、軍国主義教育をしているとして公立小学校を批判したが、大正自由教育は軍国主義の強化など多様な要因により次第に影響力を失っていった。一方、都市部を中心として旧制中学校をはじめとした中等教育段階への進学率が高まるなか、昭和初期には小学校にほぼ全員が就学し卒業するようになるが、この傾向は、満州事変期から第二次世界大戦敗戦にいたるまで変わることなく続いていった。

第二次世界大戦が終了し、¹⁴⁾連合国の対日占領政策のもとで民主化が進められていくが、教育制度においては、教育の機会均等や男女共学を理念とした（ニ）法が1947年に制定された。しかし戦後の混乱期のなか、義務教育段階の不就学や長期欠席児童の増加が問題視されていく。たとえば、当時の『朝日新聞』は、1949年の文部省調査で、小学生の8%、中学生の10%が不就学と推計されると報じている。

米ソを中心とした冷戦体制が形成されるなか、<え>年に朝鮮戦争が始まると日本では特需景気がおこり経済が急速に回復し、やがて高度経済成長の時代に入っていく。それにともない、中学校の長期欠席者率は1970年代半ばに0.5%程度で推移し、戦後最低水準を記録した。貧困などの経済的理由での不就学問題は解消され、高校進学率や大学進学率が急激に上昇していく。

しかし、高度経済成長の影響は日本社会の多方面に現れることになり、教育領域でも、受験競争、¹⁶⁾校内暴力、管理教育など、次々と教育問題が噴出した。そうしたなか、長期欠席者率は、1980年代になって中学校で再び増加しはじめた。学校基本調査によれば、主たる欠席理由は「学校ぎらい」であり、「登校拒否（不登校）」問題として1980年代から大きな注目を浴びていく。2000年代に入ってから増加傾向に歯止めがかかっているものの、学制以来およそ100年かけて成熟してきた日本の近代教育制度が、今まさに問い直されようとしている。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<え>にあてはまる適当な数字を，それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び，その記号をマークせよ。

<あ> a. 1868 b. 1870 c. 1872 d. 1873

<い> a. 1883 b. 1885 c. 1886 d. 1889

<う> a. 1903 b. 1904 c. 1907 d. 1908

<え> a. 1949 b. 1950 c. 1952 d. 1953

C. 文中の下線部 1)～16)にそれぞれ対応する次の問 1～16に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 上杉憲実が再興した足利学校が最初の藩校となった
- b. 昌平黉は林家の家塾を起源とし，1797年に幕府直轄の学問所となった
- c. 武士や町人によって私塾がひらかれ，国学や洋学などが講義された。
- d. 村役人，僧侶，医師などだけでなく女性の寺子屋師匠も存在した

2. 岡山藩主池田光政が創設した先駆的な郷学の名をしるせ。

3. 豊後日田に咸宜園を開いたのは誰か。次の a～d から 1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 佐久間象山 b. 中井竹山 c. 広瀬淡窓 d. 福沢諭吉

4. 適塾に学んだ長州藩士で近代軍隊を構想したのは誰か。次の a～d から 1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 大村益次郎 b. 久坂玄瑞 c. 高杉晋作 d. 山県有朋

5. 1873年に公布された徴税実施の基本を定めた法令は何か。その名を漢字 6 字でしるせ。

6. この学校の名をしるせ。

7. この人物に関する次の問 i・ii に答えよ。

i. この人物と西周ら洋学者が創設した啓蒙思想団体はどれか。次の a～d から 1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 硯友社 b. 交詢社 c. 明六社 d. 立志社

- ii. この人物の文部大臣在任中の出来事はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 学制が廃止され教育令が公布された b. 教育勅語が發布された
c. 高等女学校令が公布された d. 帝国大学が発足した
8. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 朝鮮南部一帯の農民蜂起をきっかけに日清両国が朝鮮に出兵し、交戦状態にはいった
b. 日本全権伊藤博文らと清国全権李鴻章との間で下関条約が結ばれた
c. 日本は、清から多額の賠償金と台湾などを得た
d. ロシア・イギリス・フランスの 3 大国が遼東半島の返還を日本に要求した
9. この年の出来事はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 国定教科書制度が導入された
b. 巡査がロシア皇太子を斬りつける大津事件が発生した
c. 治安警察法が公布された
d. 八幡製鉄所の操業が開始された
10. この調査によると、明治末期から大正前期にかけて卒業率がもっとも停滞するのは地方より東京などの都市部であることがわかっている。その要因の一部は、『日本之下層社会』に描かれているような都市の貧困問題にあるといわれているが、この著者は誰か。その名をしるせ。
11. 1925年に改造社から刊行されたこの著作は何か。その名をしるせ。
12. 1897年に高野房太郎らが結成した団体は何か。その名をしるせ。
13. この人物が、市川房枝らとともに婦人参政権獲得など女性の地位向上をめざして結成した団体はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 新婦人協会 b. 青鞜社 c. 赤潮会 d. 友愛会
14. これに関する出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 犬養毅を首相とする内閣が成立した
b. 関東軍が奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破した
c. 日本が国際連盟からの脱退を通告した
d. リットン調査団の報告書が公表された

15. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ軍は国連軍として介入した
 - b. 北朝鮮軍が北緯38度線を越えて韓国に侵攻し戦争が勃発した
 - c. 戦争拡大を恐れるローズヴェルト米国大統領が、国連軍総司令官マッカーサーを解任した
 - d. 板門店で休戦協定が調印された
16. この時期の社会情勢に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 高校進学率は、1960年代半ばに90%をこえた
 - b. 産業構造が変化し、就業人口に占める農業人口の比重は、1970年には2割を割り込んでいた
 - c. 1960年代後半から、白黒テレビなど「三種の神器」が普及しはじめた
 - d. 水俣病、四日市ぜんそくなどの公害問題が深刻化し、1967年に環境庁が発足した

【以下余白】